

# 阪神・淡路大震災から15年目の年を迎えて…

問い合わせ  
防災安全課 ☎38-2093 / 広報課 ☎38-2006

## 定点撮影で見る 平成7(1995)年▶22(2010)年



平成七年  
平成二十二年



その日、昇る太陽に照らし出されたのは、阪神高速3号神戸線が国道43号上に横倒しになっていた街撃の風景でした

**震災復興への道のり**  
震災の翌日から広報課では、災害対策本部からのお知らせを発行被害状況や今後の対応を、手書き文字やワープロで打ち出し、毎日の状況を避難所へ配布。また、一月二十四日からは復興へを発行九月二十五日までの四十九回にわたる震災復興への歩みをお知らせしました。また、平成七年七月には、平成十七年復興の目標期間とした「芦屋市震災復興計画」を策定、市民の皆さんとともに復興に取り組みました。

この間、応急仮設住宅の廃止、芦屋市中央線ハナミズキ通り開通、都市景観条例の施行、地域防災計画の改訂、南芦屋地区の町名決定、区画整理事業の実施、市民センターや体育館、青少年センターの再開、消防署の奥地分遣所新設などが進められ、本年の秋には、山手幹線も市内全線が開通することとなりました。

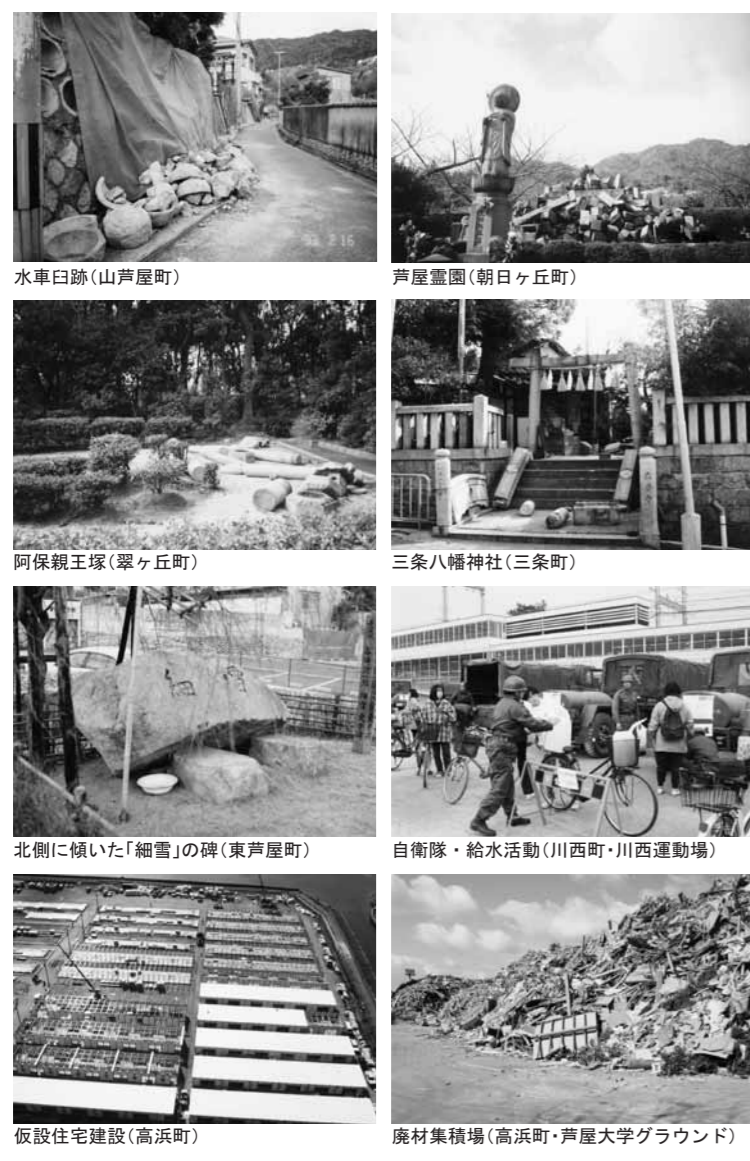
**大震災の貴重な教訓**  
本市は、古来から緑豊かな自然環境に恵まれ、明治末期から鉄道や道路が整備され、交通の便が良くなることも、良好な住宅地として発展してきました。昭和二十六年には、理想的な国際文化住宅都市建設法が制定されました。この法律の理念に基づき、自然と調和した緑豊かな美しいまち、都市機能の充実した住みよきまち、豊かな人間性と文化をはぐくむ健康なまちを目標に、阪神地区でも特徴のあるまちづくりを進めてきました。

平成七年(一九九五)一月十七日午前五時四十六分、芦屋市をはじめ兵庫県南部を襲った阪神・淡路大震災は、一瞬にして私たちの住みなれたまちを破壊し、多くの尊い命を奪い、市民を恐怖と悲しみのどん底へと突き落としました。あの日から十五年の月日が流れました。そんな中で、私たちは地震直後や復興過程の生活・まちなかの姿の中から、多くの教訓を学びました。震災後十五年を経た今日、改めて大震災で犠牲となられた皆さんのご冥福をお祈りするとともに、この教訓を生かし、安全で安心な、より良い芦屋、芦屋らしい芦屋の発展を、皆さんとともに目指していきたいと考えています。



平成7年2月26日、皇太子ご夫妻が臨席する中、県立芦屋南高校体育館では「合同慰霊祭」がしめやかに営まれ、芦屋の再生を誓いました。

## 阪神・淡路大震災 つつめ跡もあらわな芦屋風景



水車臼跡(山芦屋町) 芦屋霊園(朝日ヶ丘町) 阿保親王塚(翠ヶ丘町) 三条八幡神社(三条町) 北側に傾いた「細雲」の碑(東芦屋町) 自衛隊・給水活動(川西町・川西運動場) 仮設住宅建設(高浜町) 廃材集積場(高浜町・芦屋大学グラウンド)

## 阪神・淡路大震災の概要 《地震の概要・避難所の状況・その他》

■地震の概要 平成22年1月15日現在			
発生年月日	平成7年1月17日(火)午前5時46分	震源地	淡路島北部(北緯34度36分、東経135度02分)
地震の規模	マグニチュード 7.3	芦屋市の震度	震度7 *2月7日、気象庁の現地調査の結果、国道2号沿い、JR芦屋駅周辺、三条町・山手町の一部分が、震度7とされました。
【避難所の開所から閉鎖】平成7年1月17日~7月9日			
2月5日	給食開始(全避難所での開始は2月11日~)	2月23日	プライバシー対策として、衝立を導入
4月14日	避難所集約(民間施設等12カ所廃止)を通知	5月18日	避難所第二次集約(11カ所廃止)
5月24日	市内避難所・6月上旬に閉鎖を決定	5月28日	避難所を集約し、2カ所(126人)となる
6月7日	避難所1カ所となる	6月14日	6月18日に、避難所閉鎖することを決定
7月9日	避難者全員退去		
■避難所の状況			
月日	避難所数	避難者数	避難世帯数
1月17日	47カ所	12,916人	5,045世帯
1月19日*	52カ所	20,960人	8,188世帯
1月31日	53カ所	8,912人	3,481世帯
2月28日	49カ所	4,254人	1,662世帯
3月31日	41カ所	2,287人	893世帯
4月30日	32カ所	1,019人	398世帯
5月31日	2カ所	88人	49世帯
6月18日	1カ所	6人	3世帯
累計	5,431カ所	558,940人	218,334世帯
(*印は、避難者数のピーク時) ※上記の「避難世帯数」は推計です。 ※避難所数のピークは、1月24日の55カ所(避難者数16,134人)			
■その他			
■応急仮設住宅	市内47カ所・2,914戸を建設(引渡し日・2月7日~5月8日)	■仮設トイレ設置	176カ所・1,055基
■仮設浴場の設置	12カ所		



JRトンネル上周辺・芦屋川(松ノ内町) 本通り商店街(公光町・大樹町) 三ノ通り商店街(大樹町・茶屋之町)

## 定点撮影で見る 平成7(1995)年▶22(2010)年



川西町8番付近・被害の大きかった西部地区(清水町・前田町・津知町・川西町)の1つ 津知公園(津知町)にはテント村ができ、ここで避難する人も多くいました 若葉町(宮川河口付近)の防潮堤・芦屋浜地区では、地盤液状化による被害が目立ちました

## ■阪神・淡路大震災 芦屋市被害一覧 平成22年1月15日現在

区分	被害	備考	
人的被害	死者	444人	【平成7年1月1日現在の芦屋市推計人口】 総数86,862人/男40,514人・女46,348人 世帯数33,916世帯
	行方不明	0人	
	負傷者	3,128人	
避難者	避難者	20,960人	平成7年1月19日のピーク時(避難所・52カ所)
	全壊	4,722棟	構成比30.6%(全壊)
建物被害	半壊	4,062棟	構成比26.4%(半壊)
	一部損壊	4,786棟	構成比31.0%(一部損壊)
地震火災	地震火災	13件	震災発生後3日間の発生件数
	道路	47,410m	市道・国庫補助対象分
橋梁	12カ所		
河川	河川	2カ所	平成8年度に復旧完了
	海岸施設	8カ所	
公園	公園	33カ所	国庫補助対象分
	水道	直後に全域で停止	
下水道管渠	下水道管渠	277カ所	平成7年3月31日現在の応急復旧箇所
	下水処理場	直後に処理機能停止	平成7年1月31日から下水処理開始
電話	電話	9,200回線	平成7年1月31日までに復旧完了
	電気	直後に全域で停電	平成7年1月20日に応急復旧完了
ガス	ガス	直後に全域で停止	平成7年4月11日に復旧完了
	鉄道	直後に広域的に不通	JR・4月1日/阪急・6月12日/阪神・6月26日に全線開通

## 「芦屋シティグラフ(ASHIYA CITY GRAPH)」好評発売中!

市では、「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー刷り)を発行・発売しています。芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化。それらに触れつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧(地図)など盛りだくさんの情報を、写真170点のほかにイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご利用ください。

■発売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

## ■美術博物館の催し 「震災から15年」《2月21日(日)まで開催》

【展示内容】  
《第1部》カメラ・アイ 阪神・淡路大震災「市内の情景」記録写真展  
《第2部》コレクション展3 震災と美術

【関連企画】  
震災語り部による「語り継ぎたい記憶」座談会  
日時 1月17日(日)午後1時30分~3時  
会場 美術博物館ホール ■パネリスト等 大阪芸術大学教授・大森一樹氏、前芦屋市助役・中野正勝氏、芦屋市婦人会長・廣瀬忠子氏、写真家・高嶋敬展氏、明尾圭造本館学芸課長/コーディネーター:関西学院大学教授・角野幸博氏  
定員 100人 ■申し込み 直接会場へ(要観覧券) 終了後、ボランティアグループとまと主催のティーパーティー開催。

【関連企画】  
昔と15年前と今…あしや歴史散策  
日時 1月24日(日)午前10時~正午\*雨天時は、31日(日)に延期  
行程 阪神打出駅集合 金津山古墳 西国街道 徳本上人碑 三ノ通り商店街 あしやNPOセンター(小休) 慰霊と復興のモニュメント前 ぬえ塚 美術博物館  
■定員 20人 ■申し込み 1月20日(水)までに下記へ

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432(〒659-0052 伊勢町12-25)